

最優秀賞

日本放送協会横浜放送局長賞

ひいおばあちゃんはわすれんぼう

寒川町立一之宮小学校

二年 小島 由 楽

「いくつになったの？何年生？」

「7才、2年生だよ。」

「大きくなったわねー。」

…もう4回目…。これはわたしとひいおばあちゃんの会話です。ひいおばあちゃんは、わたしが4才の時にのうのびよう気になって、右手足がうごかせなくなりました。今は車イスにのって、かいごをしてくれるしせつにいます。それからひいおばあちゃんは、びよう気のせいでわすれんぼうになってしまいました。にん知しようと言うそうです。5分前に話したことをすぐわすれてしまいます。わたしの名前もときどきわすれてしまいます。何回も何回も

同じことを聞いた話したりします。さいしょはひいおばあちゃんのわすれるびよう気はかわいそうだし、しょうがないなと思ってしつもんにこたえていました。でも何回も聞かれると、めんどうくさいなと思う時もありました。でもおかあさんに話したら、「わすれんぼうのびよう気はなおらないけど、その時ひいおばあちゃんが由楽とわらいながら楽しい時間をすごせればいいんだよ。」と言いました。

わたしはよく夕方にしせつに行きます。するといつもえがおで、

「こんにちは。よくきてくれたわね。」

と言ってひいおばあちゃんはむかえてくれます。そしていつしよにおやつをたべます。一人でずんでいるひいおじいちゃんもよくきて、みんなでいろんな話をします。ひいおばあちゃんは、すききらいなく何でもたべらるし、とつてもおしゃべりです。

今日もまたしゆくだいがおわつたら、しせつに行きます。きつとまた、

「いくつになつたの?」

「何年生?」

つてたくさん聞かれるかな…。そうしたら、何回でも

「7才、2年生だよ。」つてえがおでこたえようと思います。ひいおばあちゃん大すきだよ。